

基準地番号	提出先	所属分科会名	業者名	アリビオアセットアドバイザーズ(株)
世田谷(都) - 32	東京都	区部第 7	氏名	不動産鑑定士 阿部 章

鑑定評価額	64,500,000 円	1 ㎡当たりの価格	632,000 円 / ㎡
-------	--------------	-----------	---------------

1 基本的事項

(1)価格時点	令和 7 年 7 月 1 日	(4)鑑定評価日	令和 7 年 7 月 2 日	(6)路線価	[令和 7 年1月]	490,000 円 / ㎡
(2)実地調査日	令和 7 年 6 月 25 日	(5)価格の種類	正常価格	路線価又は倍率	倍率種別	倍
(3)鑑定評価の条件	更地としての鑑定評価					

2 鑑定評価額の決定の理由の要旨

(1) 基準地	所在及び地番並びに「住居表示」等		世田谷区砧三丁目 1 9 7 番 3 8 「砧 3 - 3 3 - 3 6」				地積 (㎡)	102 ()	法令上の規制等		
	形状	敷地の利用の現況	周辺の土地の利用の状況		接面道路の状況	供給処理施設状況	主要な交通施設との接近の状況		1 低専 (50,100) 準防高度地区1種 (その他)		
	1 : 1.2	住宅 W 2	低層一般住宅の建ち並ぶ住宅地域		東 4.4 m 区道	水道、ガス、下水	祖師ヶ谷大蔵780 m		(60,100)		
(2) 近隣地域	範囲	東 15 m、西 11 m、南 15 m、北 40 m				標準的使用	低層住宅地				
	標準的画地の形状等		間口 約 9.3 m、奥行 約 11 m、規模 100 ㎡程度、形状 長方形								
	地域的特性	特記事項		特にない。		街路	基準方位北、4 . 4 m区道	交通施設	祖師ヶ谷大蔵駅 南方 780 m	法令規制	1 低専 (60,100) 準防高度地区1種
	地域要因の将来予測		近隣地域は、低層一般住宅が建ち並ぶ住宅地域として熟成しており、地域要因に大きな変化はなく、当面は現状のまま推移するものと把握される。地価水準は、引き続き強含み傾向で推移するものと予測する。								
(3) 最有効使用の判定		低層住宅地					(4) 対象基準地の個別的要因	方位 +2.0			
(5) 鑑定評価の手法の適用		取引事例比較法	比準価格 650,000 円 / ㎡								
		収益還元法	収益価格 420,000 円 / ㎡								
		原価法	積算価格 / 円 / ㎡								
		開発法	開発法による価格 / 円 / ㎡								
(6) 市場の特性		同一需給圏は、世田谷区及び隣接市区の駅徒歩圏の住宅地域である。需要者の中心は前記地域の居住者であるが、圏域外からの転入者もみられ、中規模以上の画地には不動産開発業者や収益物件建築目的の投資家も参入する。住環境は良好で通勤利便性も高く、住宅地需要は堅調である。市場の中心価格帯は、土地は5 0 0 0 ~ 7 0 0 0 万円程度である。中規模以上の画地を分割して再販された新築戸建住宅では、総額6 0 0 0 ~ 8 0 0 0 万円程度のものが多い。									
(7) 試算価格の調整・検証及び鑑定評価額の決定の理由		比準価格は実際の取引に基づいた価格で、市場を反映し説得力が高い。収益価格は収益性に着目した価格であるが、住宅地においては土地の経済価値に見合った賃料を確保できず低位に試算される傾向がある。また、戸建需要者は収益性より取引相場に着目する傾向がある。本件では、比準価格は規範性の高い取引事例から試算され説得力が高い。従って、比準価格を重視し、収益価格を比較考量の上、指定基準地との検討を踏まえ、鑑定評価額を上記の通り決定した。									
(8) 公規価示価格と格しをた	代表標準地	標準地	時点修正	標準化補正	地域要因の比較	個別的要因の比較	対象基準地の規準価格 (円 / ㎡)	内 街路 0.0 準 交通 0.0 化 環境 0.0 補 画地 +4.0 正 行政 0.0 その他 0.0	内 街路 0.0 域 交通 +5.0 要 環境 +5.0 補 画地 0.0 正 行政 0.0 その他 0.0	地 街路 +2.0 域 交通 +2.0 要 環境 +14.0 因 行政 0.0 その他 0.0	
	標準地番号	- 35									
	公示価格	[103.0]	100	100	[102.0]	628,000					
		737,000 円 / ㎡	100	[104.0]	[118.6]	100					
(9) 指か定ら基の準検地討	指定基準地番号	時点修正	標準化補正	地域要因の比較	個別的要因の比較	対象基準地の比準価格 (円 / ㎡)	内 街路 0.0 準 交通 0.0 化 環境 0.0 補 画地 0.0 正 行政 0.0 その他 0.0	内 街路 0.0 域 交通 +5.0 要 環境 +5.0 補 画地 0.0 正 行政 0.0 その他 0.0	地 街路 0.0 域 交通 +5.0 要 環境 +5.0 因 行政 +3.0 その他 0.0		
	世田谷(都)	- 36									
	前年指定基準地の価格	[106.0]	100	100	[102.0]	632,000					
		664,000 円 / ㎡	100	[100.0]	[113.6]	100					
(10) 対年ら象標の基準検準価討地格の等前か	- 1 対象基準地の検討 継続 新規 前年標準価格 596,000 円 / ㎡			価格変動形成要因の	〔一般的要因〕	景気は企業業績・個人消費とも好調で不動産需要は底堅い。しかし、今後は金利や物価上昇の影響が懸念される。					
	- 2 基準地が共通地点(代表標準地等と同一地点)である場合の検討										
	代表標準地	標準地									
	標準地番号	-									
	公示価格	円 / ㎡									
変動率		年間 +6.0 %	半年間 %								